

「森林環境税」を大切に活用しています。

# 豊かな森林資源を未来へ引き継ぐために



県産材で作った机や椅子を使っている小菅小学校

子どもたちの心を豊かにし  
自然を大切にする想いに  
つながっていきます。

小菅村は山に囲まれているので、当たり前のように木が身近にありますが実際に木が机や椅子となり自分たちが使うことで、子どもたちは、改めてその良さに気付くようです。子どもたちには、木の温かみや優しさに触れることで、豊かな自然環境があることの大切さを感じ取ってほしいです。将来、自分たちがとても尊い物に囲まれて成長したことを誇りに思える時が、きっと来ると思います。



小菅村立小菅小学校 教諭  
奥秋香さん



木とふれあう温もりある教育環境づくり

県産材を使用した学習用備品の導入を  
補助しています。

〔H26年度実績〕

- 導入校  
3校/机・椅子166組
- 森林環境税  
299万円

本県は、県土面積の約8割を森林が占める全国有数の森林県です。森林は、水源の涵養、土砂災害防止、二酸化炭素の吸収など、私たちの生活にさまざまな恩恵をもたらしています。

この貴重な財産「森林」を未来に引き継ぐために、平成24年度から県民の皆さんに年額500円のご協力をいただいている森林環境税を、さまざまな事業に活用しています。



赤尾保育園の園児たち。  
キープ自然学校で、森林体験



赤尾保育園(甲州市)園長  
雨宮 美鈴 さん

### 自然と直にふれあうことで 創造力が育まれます。

幼児期には、実体験がとても大切です。レンジャーさんと一緒に森の中を探検することで、子どもたちは自然に触れ、遊びを見つけていきます。自然環境の中で発見した物事を発展させていく創造力が、どんどん引き出されていくのを感じます。森で楽しんだことを家庭で話し、子から親へ自然の素晴らしさを発信してくれることにも期待しています。



自然の中に身を置くことで、命の多様性や大切さを感じてもらいたいです  
キープ自然学校 レンジャー  
蛭町 香那さん(左)  
坂上 秋津さん(右)



森の中で拾った落ち葉を  
レンジャーさんと一緒に並べます

**森林の持つ役割を学ぶ環境づくり**  
教育機関などが行う森林体験活動や民間団体が行う森林整備活動へ助成しています。

(H26年度実績)  
■活動団体数及び事業  
18教育機関等+7団体  
事業効果検証モニタ  
リング調査  
■森林環境税  
424万円

森林整備の作業は山の中で行われているため、なかなか皆さんの目には届きません。そこで森林環境税がどのように利用されているのか、納税者である県民の皆さんが実感できる機会として、見学会を開催しています。山梨の森林の健全な姿を守り、子どもやその次の世代にまで、しっかりと引き継いでいくことの大切さを、見学会を通して感じていただきたいと思っています。

森林には地球温暖化の防止や、豊かな水を蓄え供給する働きなど、多様な機能があり、私たちの毎日の暮らしは森林から多くの恩恵を受けています。しかし、森林が荒れてくると、その機能が低下してしまいます。そこで森林を適正に整備・保全するために平成24年度から森林環境税を導入させていただきました。



森林環境部  
藤原 さつき  
政策企画監

**健全な森林を未来に引き継ぐための森づくり**  
荒廃した民有林の間伐や、長期間放置された里山などの再生を行っています。

(H26年度実績)  
■森林整備面積  
1,202ha  
■森林環境税  
4億1,400万円



笛吹市境川町で行われた森林整備の見学会  
参加者は、伐採作業を間近で見学したり、どのような木を伐採し健全な森づくりを行っていくかなどの説明を作業員から聞いたりしました。



【問い合わせ先】 森林環境総務課 TEL 055-223-1634 FAX 055-223-1636 山梨 森林環境税 [検索](#)